週刊 新社会
発行所：新社会党
〒101-0051　東京都千代田区神保町2-10　　三辰工業ビル3F
TEL 03（6380）9960　FAX　03（6380）9963
振替　00140-0-149727　1ヵ月600円　郵送料　1カ月164円

新社会ちば

2017年1月　　172号
発行：新社会党千葉県本部
千葉市中央区新千葉2-1-1 新千葉ビル401
TEL　043-244-6865　FAX　043-244-6864
E-mail:sinsya@lily.ocn.ne.jp
HP URL:http://www1.ocn.ne.jp~nsp/

地域から安倍政権の暴走止めよう
暮らし第一の県政へ

県本部書記長　鴫川　静

新しい年があけました。今年もよろしくお願いします。

3月には県知事選挙が予定されています。県民にとって、安全・安心はもちろん、福祉の増進こそが県政の中心でなければなりません。しかし、2期続いた森田県政の現状はどうでしょうか。千葉県の財政力指数は47都道府県中で第4位と言われながら、福祉・医療・教育など総合で第42位という全くお粗末な状況です。

木更津オスプレイの整備基地化の問題も、森田知事は「国の決めたことだから」と何ら動こうとはしません。昨年の11月、現地では1300名以上の市民・県民が「日本の空にオスプレイはいらない！」と集会とパレードを実施しました。しかし、こうした県民の声に耳を傾けようとはしません。今年1月の運用開始によって、あの沖縄で墜落事故を起こしたオスプレイが千葉県の空にやってきます。いつ、私たちの頭上に落ちるかも知れません。危険と隣り合わせの日常が森田県政の下でつくられようとしています。

今年こそ、県民生活優先の県政に変えなければなりません。いま市民団体による「新しい知事を選ぶ会」が立ち上げられ、オール野党と市民の共同を求める運動が急速に盛り上がりつつあります。私たちは足元から安倍政権の進める「戦争のできる国」づくりを阻止し、県民に寄り添う知事を誕生させたいと考えています。

解散・総選挙も予想される情勢です。安倍政権の暴走をストップさせ、共同の戦いへと発展させるため、共に全力を挙げましょう。

反自公の総結集が課題
暮らしと平和、民主主義を護る

県本部執行委員長
秋葉　栄

新年あけましておめでとうございます。

とはいえ　昨年の安部自公政権は憲法を無視し乱暴な政治を強行しました。挙げれば、原発再稼働・武器を持たせた南スーダンへの自衛隊派遣・TPP法・年金改悪・賭博を勧めるカジノ法などこの国のありようが大変革する事態を論議なしにいとも簡単に変えてしまう制度を作りました。

加えて、沖縄辺野古基地建設を進め、県民こそって反対するさなかにオスプレイの墜落を含む大事故が相次いで起こりました。

首都圏の木更津市にもこの整備基地を作る計画は住宅密集や船舶の往来の中で甚大な事故につながりかねません。

昨年の参議院選挙では、敗北したとはいえ自公政権に対決した野党共闘が成立し憲法を護る環境ができてきました。年頭に衆議院選挙が取りざたされていますが、反自公の総結集が今年の大きな政治課題となるでしょう。暮らしと平和、民主主義を護る一年とします。

佐倉市議
冨塚　忠雄

柏市議
本池奈美枝

習志野市議
藤崎　ちさこ

習志野市議
宮内　一夫

野田市議
長南　博邦

横芝光町町議
秋鹿　幹夫

長生村議
増子　勇男

長生村議
山口　裕之

千葉県本部
自治体議員団

本年もどうぞ宜しく
お願い致します

謹賀新年

安心できる食材や郷土産品を提供します
（有）健　康　食　材

改憲を阻止し、憲法を暮らしに活かそう
憲法を活かす会・千葉県協議会

働く者の団結で生活を向上させよう
国鉄闘争の教訓と
経験を活かす千葉県共闘会議

お気軽に「労働相談室」へ
千葉スクラムユニオン　043(221)2525
東葛ふれあいユニオン　047(370)3150
ユニオン市原　0436(21)5473

年頭所感

昨年は、知る限りでもわが党の綱領を読んで近づいてきた人が数人いた。資本主義の行きづまり、物情騒然たる世界、極右の台頭などで将来を根本的に考える人が増えているのではないだろうか▲わが党の魅力は、人間的社会主義・平和革命・党内民主主義にあると思う▲社会主義の経済的・制度的・社会的・文化的基礎は成熟している。計画経済実施の条件は、高度資本主義国では前世紀よりも格段に整っている▲軍事・警察国家は平和革命の障害だが、圧倒的多数者である労働者階級が社会主義思想を把握すれば、平和革命を可能にする巨大な勢力となるだろう。民衆の自主的組織・活動も広がっている▲党内民主主義に欠ける党が民主主義を訴えても信用されまい。民衆は見ている▲若者にはソ連崩壊などのトラウマはないとも聞いた。一面では強みだ。私たちは大胆に社会主義を語ることが、語れる用意が今必要ではないだろうか。

豆知識

世界初の「農協」づくり
農地改革や技術指導も

千葉県の歴史に業績残す
大原 幽学

千葉県の歴史の中でも大きな業績のあった大原幽学（ゆうがく）ですが、その人となりが案外と知られていないのです。

幽学は1797年（寛政9年）に尾張藩、現在の愛知県の武士の子として生まれ、18歳の時に家を出て各地を巡り学問や思想をほじめ、様々な知識を身につけました。やがて天保年間に下総の地に入り、各地で学問を教えたりしながら次第に門人を増やし、また、地元の有力者の信頼を得るようになります。1842年頃（天保13年）に長部村（ながべむら現在の旭市）で農業指導などに力を注ぐようになりました。

始めに取り組んだのは農地改革で、それまではそれぞれの農民が飛び飛びに持っていた田圃や畑を区画整理して合理的に割り振りし、田畑の近くに居住するように指導しました。これは並大抵のことでは実現することは困難なことです。お百姓さんにとっての土地は先祖代々受け継いできたもので、その思い入れは言葉にはならないほどのものだったに違いありません。

そして「先祖株組合」作りに全力をかたむけました。その方法は、それぞれ5両分ずつ出し合い、その田圃からあがる儲けを積み立てて借金を返したり、貧しい家のために使ったりするというもので、当時としては画期的な試みでした。それを成し遂げることができたのも、幽学の長年にわたる教えと真摯な生活態度を見て、みんながその人格を認めて信頼したからだろうと思います。この先祖株組合とはおそらく世界で初めての「農業協同組合」であるといっても過言ではありません。

その他、肥料づくりを始めとした技術指導や、普段使うものをまとめ買いして安く仕入れ、無駄を省くなどの生活指導。また、子どもへの教育や家庭での民主化など、家族みんなで話し合って物事を決めるという習慣作りで、村では次第に幽学の教えが浸透してきて、貧しかった生活も安定するようになってきました。

旭市長部に記念館等が

折しも時代は幕末で、1853年（嘉永6年）に江戸湾に入ってきた黒船によって日本国中大騒ぎの状態。幕藩体制が大きく揺らいでいた中、尊王攘夷の志士たちが討幕運動に立ち上がり始めた、そんな折のこと。門人数の増加。先祖株組合の推進。教導所「改心楼」の建設などが、体制維持のために神経をとがらせていた幕府の取締に逢い、有罪の判決を受け1857年（安政4年）江戸にて謹慎させられてしまいました。それは改心楼の廃棄、先祖株組合の解散という過酷なものでした。翌年に刑が解かれ、再び村に戻った幽学が目にしたのは荒廃した村でした。疲労困ぱいと失意の中で幽学は自刃し、その場所に墓がたてられました。

現在、旭市長部に大原幽学遺跡史跡公園があり、その中に記念館があります。そこには遺品や関係資料などがあり、傍らに幽学の当時の居宅があり見学もできます。記念館は大人300円、小中学生は200円と有料ですが、一度千葉の歴史に触れてみるのも良いかもしれません。

第8回平和を願う市民のつどいinちば

子どもたちの「生きる力」になる学びを

実行委員　市川 まり子

今年の「平和を願う市民のつどい」は、12月10日（土）に千葉大で開かれた「第9回教育子育て九条の会全国交流集会―憲法と子育て・教育を考えるつどい」の第5分科会として開催しました。

集会では、「つながろう 子どもの未来のために」をスローガンに、5つの分科会に分かれて、千葉県における教育・保育の様々な問題、安保法制とも関連する国の教育支配の進行、ブラックバイトなど、幅広いテーマが取り上げられました。

第5分科会では、松戸市に夜間中学校をつくる市民の会の榎本博次さん、多文化フリースクールちばの白谷秀一さん、会社員の下村七生さんの3名の方にまずご発言いただき、昼食をはさんで、上原公子さん（教育子育て九条の会呼びかけ人）の進行で質疑応答を行いました。

子どもが望む教育の保障を

財政面や会場確保・スタッフ不足等の困難を抱えつつ公的な学校教育の欠けた部分を補う「自主夜間中学校」「多文化フリースクール」の取り組み。3日しか小学校へ行かず、苦しい時期を通り抜けながら、両親や支えてくれる人々との出会いの中で必要な学びを自ら得てきたという下村さん。

それらの発言を受けて、上原さんから、子ども自身が望む学びをどう保障していくか、生きる選択肢を広げ、その人らしく生きるために必要な教育を保障することが「基本的人権の保障」になり、その「権利」は「国民の不断の努力によって保持しなければならない」と、まとめの発言がありました。

俳句

～四季へのいざない～

暁闇や岬をめざす初電車　水明

初電車は季語「乗初」の傍題。新年になって初めて、電車、自動車、飛行機、船などに乗ること。掲句は、「岬をめざす」というからきっと初日を拝む為の電車だろう。例えば銚子電鉄のような。まだ夜明け前のホームである。しかし、ホームには初日を拝む人々の列。まじかに迫る日の出の時刻。うすうすと白む東の空。淑気あふれる暁闇のホームである。

2017年 新社会党千葉県本部

新春のつどい

ときと　1月28日（土）13時開会
ところ　京成労働会館 3F大ホール
【第1部】13時20分～15時00分
・新春講演「アベノミクスの破綻と私たちの生活」
講師　山家悠紀夫 氏（神戸大学大学院経済学研究科元教授）
【第2部】15時15分～17時00分
・懇親パーティー
・アトラクション LMSジャズオーケストラ演奏
会費　3000円（1部・2部セット）講演のみ 1000円
主催　新社会党千葉県本部／憲法を活かす会・千葉県協議会
連絡先　043-244-6865